

平成29年度障害者支援施設静心園事業報告書

障害者支援施設静心園は利用者本位の支援の提供を基本としサービス管理責任者による個別支援計画の策定および定期的な見直しにより利用者様の自己決定を尊重し利用者様一人ひとりの支援計画に基づいたサービスの提供に努めました。また、介護職員を対象とした喀痰吸引等第三号研修機関としての研修の実施や、不審者等の侵入を防ぐ対策として防犯訓練・研修を実施しました。利用者様の人権および尊厳を守るため障害者支援施設静心園虐待防止・権利擁護ガイドラインによる人権侵害防止への取り組みや施設における身体拘束廃止および緊急やむを得ない場合の解除に向けた介護方法を検討し安心・安全かつ良質なサービスの提供と利用者様との信頼の向上に向けて取り組みました。利用者様一人ひとりその人らしい生活を支援することを目的として、「平成29年度社会福祉法人けやきの村事業計画」に基づき、それぞれの事業および分野で次の各項目にそって事業を実施しました。

1. 運営管理及び諸会議

- (1) 施設は、利用者の立場に立った施設支援を提供することを目標に次の整備を行いました。
 - ①電動ギャジベッド更新2台（年次計画）
 - ②浴室床面張替工事
 - ③中型除雪機購入
 - ④多機能ストレッチャー購入
 - ⑤業務用空気清浄機購入3台
 - ⑥利用者女子便所汚物流し交換工事
 - ⑦火災通報装置改修工事
 - ⑧職員トイレブース改修工事
 - ⑨ボイラー熱交換器分解清掃等工事
- (2) サービス提供の主体として、利用者の選択に十分応えることができるよう、サービスの質の向上を図るため「障害児・者のサービス共通評価基準」をもとに自己評価を行いました。
- (3) 個別支援計画作成会議を開催し、利用者の生活の質を重視したその人らしい快適な生活が送れるよう、利用者個々の状況及びニーズに基づいた個別支援計画書を作成し、計画に基づき適切なサービスの提供に努めました。
個別支援計画作成会議開催回数；22回
個別支援計画作成対象利用者；52名
- (4) 施設の適正な運営及び行事等の計画立案のため職員会議を開催しました。
職員会議開催回数；9回
- (5) 公正・公平な事業運営と利用者のサービス選択に資するため、サービス内容に関する情報の提供、財務諸表及び事業報告書等の開示を行うとともに、法人機関紙として「けやきの村便り」を3回発行しました。
- (6) 福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を汲み上げ、利用者施設が対等の関係を築くとともに、利用者本位の福祉サービス提供を実現するために苦情解決体制の推進を図りました。詳細については、「3. 苦情への対応について」を参照。
苦情受付件数；0件
- (7) 利用者が施設において安心、安全な生活が送れるよう、ヒヤリ・ハット報告による未然防止及び事故が発生した場合の再発防止に努めました。詳細については、「4. 事故防止について」を参照。
ヒヤリ・ハット・事故報告件数；143件
- (8) 職員の研修会への参加については、福島県社会福祉協議会研修センター主催の研修会を中心に参加し資質の向上に努めました。

| | | | |
|---|------------------|-----|-----|
| 参加した外部研修会 | ①県研修センター主催による研修会 | 20回 | 24名 |
| | ②関係団体主催による研修会等 | 14回 | 26名 |
| 参加した内部研修会及び勉強会 | | | |
| | 法人主催 研修会 | 1回 | 3名 |
| | 普通救命救急講習会 | 2回 | 6名 |
| | 施設主催 勉強会 | 6回 | 79名 |
| | OJT | 3回 | 48名 |
| | ケース検討会 | 0回 | 0名 |
| 介護職員等によるたんの吸引等の研修関係 | | | |
| | ①不特定の者対象の研修 | 1回 | 2名 |
| | ②指導者養成講習会 | 0回 | 0名 |
| | ③特定の者対象の研修 | 1回 | 20名 |
| (9) 平成29年度福島市障がい者週間記念事業の実務担当者として2名の職員が参加し、啓蒙活動及び「ふれあいの集いスタッフ」として関わりました。 | | | |
| (10) 中野地区展覧会の実行委員として企画・運営に参画し、地域活動を支える団体としてその一翼を担いました。 | | | |
| (11) 中野小学校のPTCAに参加し、小学校の行事スタッフとして関わりました。 | | | |
| (12) 中野地区大運動会共催団体として、参加しました。 | | | |

2. 利用者へのサービス提供について

(1) 生活支援

- ①利用者の生活の質を重視したその人らしい快適な生活が送れるよう、利用者個々の状況及びニーズに基づいた個別支援計画書を作成し、計画に基づき適切なサービスの提供に努めるとともに、適切な時期にモニタリングを行い、利用者の実情に沿った計画の見直しなど、きめの細かいサービス提供に努めました。
- ②きめの細かい個別支援の提供のため、利用者の状況をできるだけ詳細に記録することに努め、個別支援計画作成やモニタリングに際して貴重な記録となりました。
- ③防火管理上の安全を図るため、機械室・調理室・洗濯室の火気・電気設備の自主点検を実施しました。
- ④利用者の身体的機能の維持及び向上を図るとともに、安全で安心できる環境を整え、一人ひとりがその人らしく生活を楽しめるよう個別支援を実施しました。

(2) 各種訓練等の実施

①介護外出

福島市内など（20回実施、延べ44名参加）

②余暇活動

| | | |
|--------------------------|---------------|---------|
| 介護散歩 | （7回、延べ | 17名参加） |
| カラオケ | （46回、延べ1, | 056名参加） |
| わくわくデー | （9回、延べ | 298名参加） |
| クラブ活動；園芸クラブ | （3回、延べ | 25名参加） |
| 音楽クラブ | （2回、延べ | 48名参加） |
| 創作クラブ | （5回、延べ100名参加） | |
| 調理クラブ | （5回、延べ198名参加） | |
| 文芸クラブ | （2回、延べ | 66名参加） |
| レクリエーションクラブ | （3回、延べ100名参加） | |
| レクリエーション支援 | （2回、延べ | 61名参加） |
| 「福祉レクリエーションネットワークinふくしま」 | | |

- ③ボランティアの受入
- * 桑折ふるさと民話の会
(紙芝居、昔話；1回、38名参加)
 - * コーラス「サルビア」
(合唱；1回、49名参加)
 - * 篠笛サークル「篠の音」
(篠笛演奏、フラダンス；1回、50名参加)
 - * 福島市民オーケストラ演奏会（1回、43名参加）
 - * 聖光学院野球部ボランティア活動
(清掃活動、レクリエーション活動参加；1回、監督他21名来園)
- ④お盆休暇・年末年始休暇の帰省状況
- お盆休暇（8月13日～8月16日）11名（内日帰り1名）
 - 年末年始休暇（12月29日～1月3日）11名（内日帰り1名）
- (3) 父兄参加・地域開放行事の実施
- ①施設主催花見会（4月22日）利用者49名、父兄32名、町内会等5名
 - ②施設主催納涼祭会（7月26日）利用者50名、町内会等10名
 - ③法人主催納涼大会（8月3日）利用者3名
 - ④けやき祭（9月24日）利用者47名、父兄21名
 - ⑤施設主催芋煮会（10月28日）利用者50名、父兄40名、町内会等6名
- (4) 対外行事への参加
- ①三井流舞踊感謝大会（4月1日）利用者2名
 - ②中野小学校児童鼓笛隊パレード見学（5月1日）利用者3名
 - ③福島市民オーケストラファミリーコンサート（9月18日）利用者2名
 - ④福島市障がい者スポーツ大会（10月14日）利用者2名
 - ⑤中野地区大運動会（10月8日）利用者9名
- (5) 対外作品展への出品
- ①福島市福祉作品展出品（12月2～4日）
個人（2名、2作品） 団体（2グループ、2作品）
 - ②中野地区展覧会出品（2月10～11日）
個人（3名、3作品） 団体（1グループ、3作品）
- (6) 機能訓練
- 週5日（月～金）で238日実施
延べ参加利用者人数；2009人
1日平均人数；8.44人
- (7) 集団リハビリテーション
- 週3回（火、水、金）で118回実施
延べ参加利用者；1,459人
1日平均人数；12.4人
- (8) 健康管理
- ①健康診断の実施

| | |
|------------------|----------|
| 第1回実施期間；平成29年 5月 | 受診者数；50名 |
| 第2回実施期間；平成29年12月 | 受診者数；50名 |
 - ②結核検診

| | |
|---------------|----------|
| 実施期間；平成29年 7月 | 受診者数；50名 |
|---------------|----------|
 - ③体重管理
体重測定；12回実施
 - ④血圧測定；毎月実施

- ⑤嘱託医出務；週1回
- ⑥入院の状況
 - 延べ入院者数；4名（実人数3名） 平均入院期間；19日間
- ⑦口腔ケア対策
 - 内容；歯磨き指導、除石 回数；174回
- ⑧インフルエンザ予防接種（50名実施）
- (9) 給食状況
 - ①嗜好調査の実施（1月9日～1月31日）
 - ②給食委員会の開催；12回（毎月1回）
 - ③選択メニューの実施回数；60回
 - ④バイキングメニューの実施回数；4回
 - ⑤治療食等の実施；糖尿病食1名
 - ⑥刻み食の実施（超刻み食6名・刻み食8名・粗刻み食2名・硬い物一口大13名
ブレンダー食3名）

3. 苦情への対応について

平成29年度における苦情については、下記のとおりです。

苦情受付件数；0件

利用者友の会（自治会）役員と毎月集まりをもち、意見や要望を聞く機会を多く作っており、毎回役員が利用者の皆さんから集めた声や、役員自らが感じていること、考えていることをたくさん出して頂いています。利用者様への対応について、安心して楽しく安全に生活していただけるように、職員一同共通の認識を持ち努力しているところです

4. 事故防止について

- (1) 避難訓練の実施 ; 年8回実施
 - (2) 通報訓練（法人全施設合同） ; 8月30日
 - (3) 総合避難訓練の実施 ; 7月26日、10月25日、延べ2回実施
 - (4) 飯坂消防署による立入査察 ; 7月10日
 - (5) 防災講座；講師、飯坂消防署予防課係長 ; 3月14日
 - (6) 消防設備の点検 ; 年2回
 - (7) たこ足配線等コンセントの点検 ; 随時
 - (8) ヒヤリケース及び事故報告件数について
 - 事故報告件数 ; 6件
 - ヒヤリケース ; 137件
- ヒヤリケース項目別割合については以下のとおり。

| 項目 | 件数(割合) |
|-----|---------------|
| 誤薬 | 0件 (0.0%) |
| 誤嚥 | 2件 (1.5%) |
| 異食 | 0件 (0.0%) |
| 転倒 | 19件 (13.9%) |
| 転落 | 14件 (10.2%) |
| 衝突 | 0件 (0.0%) |
| 外傷 | 27件 (19.7%) |
| その他 | 75件 (54.7%) |
| 合計 | 137件 (100.0%) |

利用者様に安全に安心して生活して頂くためヒヤリ・ハット（インシデント）、
事故報告書によりリスクマネジメント委員会を開催し事故予防と再発防止に努めました。

5. 施設の利用状況

入所者（定員50名）

| | 月初めの 現 員 | 在 籍 延べ日数 | 外泊・入院 延べ日数 | 延べ実利用 日 数 | 利用率 |
|-----|-------------|-------------|---------------|--------------|-------|
| 4月 | 49人 | 1,470日 | 40日 | 1,430日 | 95.3% |
| 5月 | 49人 | 1,495日 | 49日 | 1,470日 | 94.8% |
| 6月 | 50人 | 1,489日 | 20日 | 1,469日 | 97.9% |
| 7月 | 50人 | 1,550日 | 20日 | 1,530日 | 98.7% |
| 8月 | 50人 | 1,544日 | 37日 | 1,513日 | 97.6% |
| 9月 | 50人 | 1,500日 | 8日 | 1,492日 | 99.4% |
| 10月 | 50人 | 1,550日 | 10日 | 1,540日 | 99.3% |
| 11月 | 50人 | 1,495日 | 17日 | 1,478日 | 98.5% |
| 12月 | 50人 | 1,550日 | 22日 | 1,528日 | 98.5% |
| 1月 | 50人 | 1,544日 | 25日 | 1,525日 | 98.3% |
| 2月 | 50人 | 1,395日 | 13日 | 1,387日 | 99.0% |
| 3月 | 50人 | 1,550日 | 4日 | 1,546日 | 99.7% |
| 平均 | 49.8人 | 1,511日 | 22.0日 | 1,492日 | |

短期入所者（定員1名）

| | 月初めの 現 員 | 在 籍 延べ日数 | | 月初めの 現 員 | 在 籍 延べ日数 |
|-----|-------------|-------------|-----|-------------|-------------|
| 4月 | | | 11月 | 1人 | 30日 |
| 5月 | | | 12月 | 1人 | 24日 |
| 6月 | | 26日 | 1月 | 1人 | 31日 |
| 7月 | 1人 | 31日 | 2月 | 1人 | 28日 |
| 8月 | 1人 | 6日 | 3月 | 1人 | 12日 |
| 9月 | 1人 | 17日 | 合 計 | 10人 | 236日 |
| 10月 | 1人 | 31日 | 平 均 | 0.8人 | 19.6日 |